

車載ITのデザイン提案“ OMNICAR ”

岡田詩門*
河原健太*

In-Vehicle IT Design“ OMNICAR ”

Shimon Okada, Kenta Kawahara

要 旨

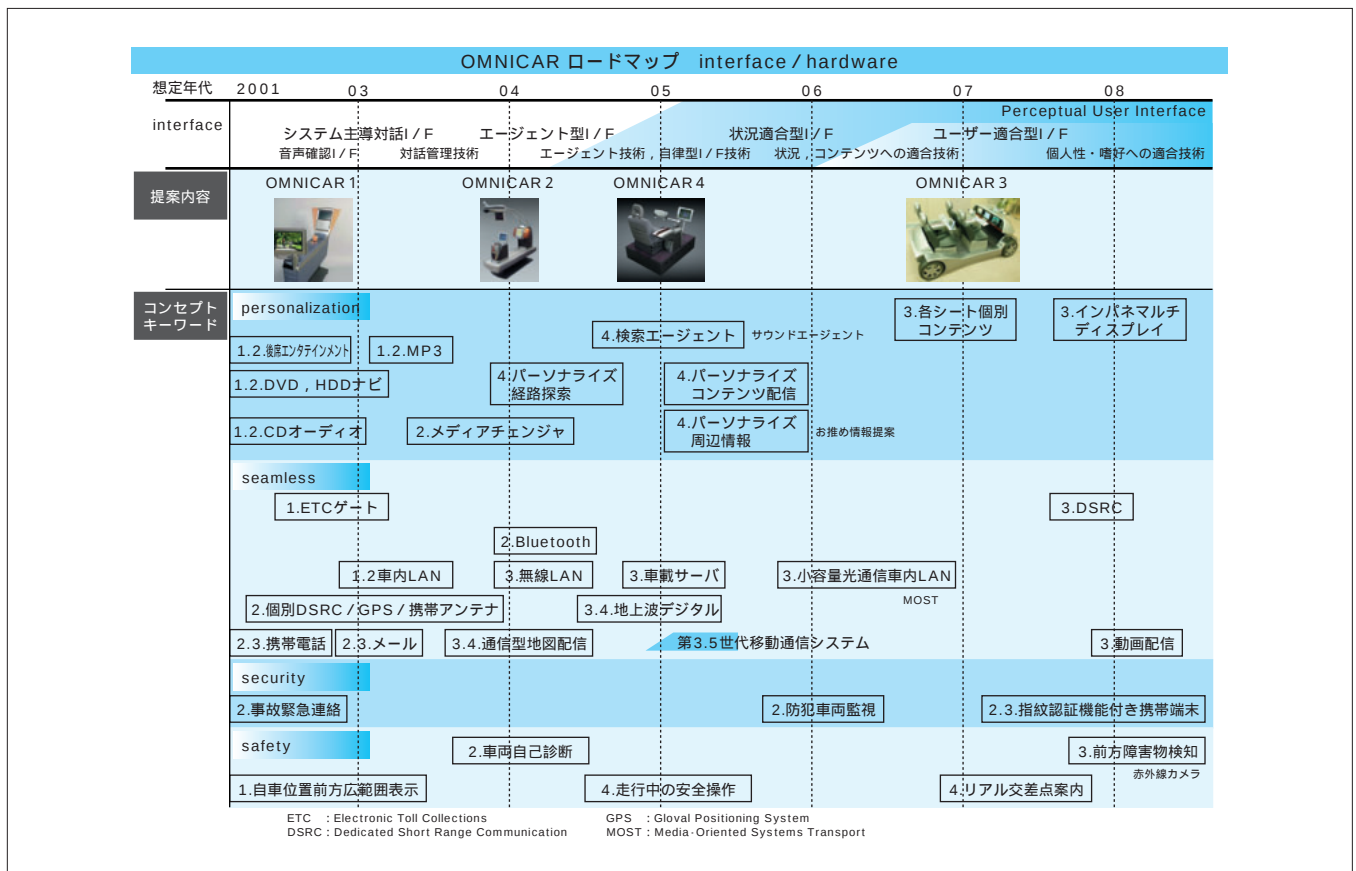
クルマの“ 環境 / エネルギー ” “ 安全 ” “ 利便性 ” “ 快適性 ” への問題解決が社会から強く求められている。

問題がどこにあり、どう解決するか。その回答を潜在的に用意しているのはユーザーである。三菱電機のデザイン研究所は、それらをユーザーの視点から解決するために、“ 車載 IT (Information Technology) コンセプト及びインタフェース ” の研究を行ってきた。研究に当たっては① “ ユーザー視点でのアプローチ ” , ② “ トータルな視点でのアプローチ ” , ③ “ 次世代をビジュアル化するアプローチ ” に則って開発している。アプローチの方法として、“ コンセプト構築と評価 ” において、① 問題点の抽出、② ユーザーニーズ仮説設定と仮説体系化、③ アイデア発想、アイデア

構造化、アイデア展開、④ コンセプトシート作成、⑤ コンセプト評価、続いて “ コンセプトのビジュアル化 ” において、① プロトタイプ製作、② プロモーション映像製作、を实践した。

“ OMNICAR ” コンセプトは、1999年から国内外の自動車メーカー、関連ショーへの提案や広報発表を継続的に行い評価検証を行ってきた。これら提案活動により当社が目指すべき技術開発の方向性を探り、今後重点開発していかなければならないテーマの絞り込みと開発のスピード化が図られると考える。

今後、コンセプトの評価基準や評価プロセスの方法論を関係部門と確立し、実用化していくことが重要である。



OMNICARの想定年代と技術ロードマップ

OMNICAR 1 は、エンタテインメント等のpersonalization主体の提案である。OMNICAR 2 と 3 は、さらに無線LAN、又は指紋認証等を想定しseamless, securityも含めた提案である。OMNICAR 4 はエージェント型 I / F、状況適合型 I / Fによるpersonalization, seamless, safetyの提案である。